

## 特集展「頼山陽と絵画」を開催します！

- 頼山陽が描く絵画と、山陽の巧みな画賛や躍動感溢れる題画詩を一挙公開！  
田能村竹田も称賛した頼山陽の絵画の世界を紹介します。
- 頼山陽が画賛を記した絵画作品2点を初公開！

## 展示会の概要

## 1 趣旨

能書家として知られる頼山陽は、文人画家と親しく交遊する中で多くの画賛を記し、自らも多くの絵画を描きました。絵画に高い見識を持つ山陽の作品は、江戸時代後期を代表する文人画家田能村竹田からも、教養に裏打ちされた気韻の高さを称賛されています。

本展では、山陽が絵画と向き合う姿勢を、絵画作品と題画詩を通して紹介します。

## 2 会期

5月30日(木)～7月21日(日)

[開館時間] 9:30～17:00 (入館は16:30まで)

[休館日] 月曜日 (祝休日の場合は開館し、翌平日が休館)

## 3 会場

頼山陽史跡資料館 (広島市中区袋町5番15号) 展示室2

## 4 入館料

常設展の料金で御覧いただけます。

一般 200円(160円), 大学生 150円(120円)

高校生まで・満65歳以上 無料

※( )内は20名以上の団体料金

## 5 関連行事

展示解説会 展示の見どころを学芸員が分かりやすく解説します。

[日時] 6月8日(土), 6月29日(土), 7月6日(土)

※いずれも13:30～



「自画賛山水図」  
(頼山陽筆、文政11年(1828)、個人蔵)